



ステップ

小・中学部の進路に関する学習

今回は、小・中学部で取り組んでいる、進路に関する学習について紹介します。各ご家庭で子どもたちの進路について考える際の参考にいただければ幸いです。

小学部の取組

今年度、進路指導だより「ステップ」では、シリーズで小学部の学習の様子を紹介しています。3回目の今回は2年生と6年生の取組を紹介します。

小学部2年生 「係活動」

小学部では学級内の仕事を分担し、係活動をしています。2年生では、ごみ捨てや黒板消しなど一人で二～三つの係を担当しています。児童が興味・関心のあることや身に付けさせたいこと、一人で取り組めることなど、それぞれの児童に合わせて活動を設定しています。毎日活動する中でやり方を覚え、「係のお仕事をしよう」等の教師の言葉掛けで、遊びを中断して活動に取り組んだり、自主的に取り組んだりするようになってきました。文字の読み書きなどを学習している児童は毎日献立を書く係を担当し、固結びの練習をしている児童はごみ袋を結んで捨てる係を担当することで、他の学習活動で学んだことを生かして係活動に取り組んでいます。**身近な生活の中で目にする仕事に興味・関心**をもち、自分の**役割や活動内容を理解**して取り組む経験は、将来の「働くこと」の土台となります。日々の活動を通して、**誰かの役に立つことの有用感**を得たり、**認められる喜び**を感じたりすることが将来の生きる力につながるよう指導をしています。



小学部6年生 ～中学部入学に向けた学習～

6年生は2学期末から、中学部入学に向けた学習がスタートします。中学部の生徒から中学部の生活について話を聞いたり、中学部からスタートする「作業学習」の見学、体験を行ったりします。体験の際には「**あいさつをする**」「**時間いっぱい頑張る**」「**丁寧に作業する**」等の目標をもって、作業に取り組みます。6年生の児童は、1回目の見学では緊張しながらも、事前に練習したとおりに挨拶したり、説明を一生懸命聞いたりしていました。教室に戻る頃には緊張が解け、「疲れた～」という率直な感想や「リサイクル班をやりたい」など**中学部に向けた期待感や意欲**が感じられる感想が聞かれました。3学期の作業学習体験では保護者の方々も参観しました。この他に卒業文集の作成など、少しずつ気持ちが中学部入学へと向かっていくよう、学習を計画しています。





中学部の取組



中学部の進路学習では、1年生から段階的に、自分や友達の得意なことや中学部卒業後に必要な力について知る学習を取り入れています。

中学部になると、**作業学習**が始まります。製品作りやリサイクル活動などを通して、長時間作業を続ける経験を積み、働く上で必要とされるマナーや態度について学びます。また、挨拶や報告などの基本的マナーや、**将来の職業生活の基礎となる力を養います**。始めは長い時間作業に向かうことが難しかった1年生も、次第に集中できる時間が増えたり、できる作業が増えたりすることで、**働く楽しさを感じるようになります**。



6月と11月に行われる作業学習週間中に、**高等部の校内実習を見学・体験**する機会を設定しました。前期作業学習週間には、高等部の校内実習を見学しました。高等部生が真剣な表情で実習に取り組む姿を見て、「集中して取り組んでいて、はきはきとした声で報告をしていました」等の感想が聞かれました。後期作業学習週間では、校内実習の体験に取り組みました。実習の張り詰めた雰囲気の中、高等部生が真剣に**実習に向かう姿を間近で感じることができ**、経験を広げる貴重な体験となりました。



3年生になると、**高等部の学習内容や生活の様子についての説明会**が行われます。高等部の学習内容や生活についてスライドを見たり、見学・体験したりしたことで、**高等部進学への期待感が高まりました**。



このように、中学部では生徒が自分のできることをさらに伸ばしたり、中学部卒業後の生活に期待感をもって学習に取り組んだりしていけるよう、進路学習を進めています。